

子どもは宝 手塩にかけて 愛情いっぱい育てましょう。



黒倉先生は、園児の人気者。いつも子どもがそばを離れません。今、子どもたちの間ではやっているのは虫さがし。黒倉先生も一緒になってさがし回っています。

「朝一番早いのははやちゃん、大きな電車のおもちゃをかかえて、お母さんにだっこされてオハヨーとやって来ます。お兄ちゃんも一緒に。さすが、お兄ちゃんも自分の荷物を自分で持って来ます。朝の登園風景は、園児一人一人の成長過程がとてもよく分かるひとときです。」と話してくださる藤田所長。今回は産休明けの0歳児から5歳児までの児童124名が通う、狭山市有数の大規模保育所におじゃまし、狭山の保育の現状を伺いました。



問い合わせ水野保育所
へ ☎958-6347

REPORTER'S EYE



【リポーター】

松永より子さん(入間川在住)

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、市民のかたがりポートします。

「朝一番早いのははやちゃん、大きな電車のおもちゃをかかえて、お母さんにだっこされてオハヨーとやって来ます。お兄ちゃんも一緒に。さすが、お兄ちゃんも自分の荷物を自分で持って来ます。朝の登園風景は、園児一人一人の成長過程がとてもよく分かるひとときです。」と話してくださる藤田所長。今回は産休明けの0歳児から5歳児までの児童124名が通う、狭山市有数の大規模保育所におじゃまし、狭山の保育の現状を伺いました。

水野保育所は、市内の公立保育所では最初に産休明けの0歳児保育を始められたということで、お預かりしている0歳児の子どもさんも一番多いとか。小さい子を預かるということは、それだけ目も手もかかるし、大変なのではと思ったところ、0歳児がいることで5歳児の中に

はお兄ちゃん、お姉ちゃんの意味が芽生えて子どもなりに小さい子の面倒を見てくれます。今の少子化の時代で、そういう体験ができるのはよいことだと思えます。それに0歳からお預かりしていると、寝返りやハイハイ、つかまり立ち、よちよち歩きができるようになっていく喜びを、全部見ることができると。この喜びを全部お母さんに返してあげることが、よい子育てのためにとても大切なことだと思っています。というお返事でした。そしてこういいうれしい便りは、保育ノートや連絡帳、お迎えの時の会話の中などでお母さんに伝えられます。職員体制について常時看護婦さんを置いたり、献立には管理栄養士さんなどの専門職で対応するシステムができていますので、以前子どもを預けていた保育所で、納得のいくアウトプット対応をしてもええ、仕事を辞めざるをえなくなった経験のある私のような母親にとっても、とても素晴らしい保育所だと思えます。



それから、入園児以外の子どもさんを遊ばせたり、お母さんの見学のために園庭を開放し、地域にも広く子育てのノウハウを還元していることや、地域の子育て支援のための「ワイワイ広場」など、狭山市は時代に先駆けた保育を行っていると感じました。そしてもう一つ、この保育所には特徴があります。今年から男性保育士が狭山市に初めて誕生し、この水野保育所の3歳児14人を担当しているのです。3歳児はもめこの解決など言葉より先に出る傾向があるので、早めにその兆しを感じて、けがをさせないように気をつけています。という黒倉保育士。子どもたちにはよきお兄さんとしてとても人気があるそうです。私も子どもの成長には男性が関わることはとても大切だと思うので、今後も男性保育士が採用されていくといいと思います。

「手塩にかけて、愛情いっぱい育てれば、必ず将来その結果がよい形で返ってくる」という信念のもと、親御さんと一緒に喜びを分かち合っていきたいとおっしゃる藤田所長。園児にも新人保育士さんにとっても、とても素敵な環境だとouchやましくなりました。